

# 放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間: 2024年12月  
結果公表日: 2025年3月27日

## 回答率

事業所職員: 6名回答、回答率 100%  
保護者様: 29名回答、回答率 87.9 %

## 職員の意見

### ○環境・体制整備

・法令上の人員基準は満たしているものの、送迎の関係上、時間帯によっては教室内の職員が手薄になることがある。近隣教室と送迎の調整をしながら、訓練室の職員確保について工夫していくとともに、死角がないよう職員の立ち位置や物の配置等にも留意し、安全管理の目が行き届くよう工夫する必要がある。

### ○業務改善

・毎日業務前ミーティングの中で、日々の支援についての反省や振り返りを行い、質の向上に努めている。また、送迎等で保護者様にお伝えしたいことやお聞きしたいことをまとめ、都度共有を行っている。アンケート調査や自己評価の結果については、ニュースレターやホームページを通して公開している。

### ○適切な支援の提供

・個別支援計画作成にあたり、全体ミーティングの時間を設け、意見を言い合いながら適切な支援内容を考え、半年ごとに作成している。その日の支援後にも利用者の様子を共有し、振り返りを行っている。

毎月の集団活動についても、今必要な活動は何か、活動内容や曜日が被らないよう留意しながら決めることができている。

### ○関係機関や保護者との連携

・保護者とは、送迎時や連絡帳等で連携を行い、日々の様子を共有し、課題について共通認識、共通理解をもてるよう動いている。関係機関とも、個別支援計画作成のタイミング等、定期的に連携し、情報共有を密に行っている。

### ○保護者への説明責任等

・報酬改定にともない、個別支援計画や専門的支援実施加算等、変更があったことについて説明は十分に行えた。今後は、保護者会開催等、保護者同士が関わる機会を増やし、連携強化に努めていきたい。

### ○非常時等の対応

・月1回防災訓練を行っており、地震、火災、不審者対応、水害等さまざまなケースを想定し、実施曜日や利用者に合わせて内容を考え、実施している。また、職員の虐待防止の研修についても定期的に実施している。

## 保護者様のご意見

### ○環境・体制整備

・活動等のスペースについて、「もう少し広さがあっても良い」「活動の様子をみたことがないので、判断できない」という意見をいただいた。

### ○適切な支援の提供

・個別支援計画作成にあたり、「普段や学校での様子を保護者にヒアリングし、デイでの様子も共有しながら、それを元に計画作成されている様子に好感が持てる。」という意見をいただいた。

### ○保護者への説明等

・今年度報酬改定があったことにより、「報酬改定によって利用者負担などが複雑になってきたように思うため、よくわからなくなっている」という意見もいただいたので、保護者への周知方法について改善、工夫を検討する必要がある。

### ○非常時等の対応

・非常時等の対応について、「防災訓練が毎月活動プログラムとして組み込まれていることは好感が持てる。」という意見がある一方で、「実施されているか分からない」という意見もいただいた。活動の様子を発信できるよう改善していく必要がある。

### ○満足度

・「支援に満足しているか」という質問について、9割の方から「はい」という回答をいただいた。「ニコニコしながら帰ってくるので安心感をもって通所していると思います。」「スマートキッズに行きたいとよく言っています。とても楽しく過ごせていると思います。」との意見をいただき、満足度の高いことがうかがえた。

・「状況にもよると思うが、課外活動の機会が少し増えたら嬉しいです。」との意見もいただいたので、長期休み等の活動内容を工夫していき、より満足度を高められるようにする。

## 昨年度の振り返り

### ○今年度の取り組む具体策

・対面でのやり取りが少ないご家庭に向けて、よりニーズにお答えできるよう定期的にお話する機会を設ける。

・職員が行える範囲での修繕清掃を徹底し、安全かつ衛生的な環境を維持する。

・それぞれのご家庭に合った利用形態を提案、実行し、全体の満足度向上を目指す。

・児童向けの聞き取り調査を行い、児童の需要を常に把握できるようにする。

### ○改善できた点・まだ残る課題

・今日の出来事の共有だけでなく、気になったことやお聞きしたいことがでてきた際は、定期的に電話等でお話することができた。

・清掃については、床をブラシで磨いたり、定期的に空調清掃したりと衛生的な環境を維持できるように努めている。今後も継続して行っていく。

## アンケート結果からみる教室の強み・改善点

### ○教室の強み

- ・面談時だけでなく、送迎時やサービス提供記録を通して、日頃の児童の教室の様子をお伝えしたり、学校やご家庭での様子を共有していただいたりと家庭との連携を密にとれている。
- ・活動内容が固定されないようにしたり、児童1人ひとりの趣味や好きなことについて把握し、それに合わせた会話を心掛けるようにしたりと工夫をおこなったからか、「通所したい」、「支援に満足している」という声を多くいただいた。

### ○改善点

- ・報酬改定によって何がどのように変わったのか、保護者への周知が不十分であったため、延長加算等の説明を再度おこない、安心感をもって通所できるよう努めていく。
- ・活動の様子について分からないという声も多くあったため、ニュースレターで写真を掲載したり、ブログを更新したり等の取り組みをおこない、日頃の様子を感じていただけるようにな工夫の検討をしていく。

## 中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

### ○中長期的な改善計画

- ・保護者とは面談だけでなく、送迎時等随時情報共有を行い、現状の発達段階や特性についての対応も明確にし、本事業所に対応していることを家庭でも取り組めるように共有していく。
- ・学校や他事業所等との情報交換にも力を入れ、それぞれの課題を確認したうえで、それに合わせた本事業所の対応を考え、提供していく。
- ・場所や時間帯を工夫し、外出プログラムの実施機会を増やしていくことを検討する。

### ○1年間で取り組む具体策

- ・保護者のニーズ、状況に合わせた保護者会を開催(オンラインでも検討中)し、保護者同士の繋がりをつくる機会を増やす。
- ・職員は、利用者と日頃からさまざまなことを話す機会を設け、安心感をもってもらえるよう、よりよい関係性づくりに努める。